

希望の植木
を東京中で
育てます

幕引きに抗議殺到 引き続き徹底解明を!

都議5期目

植木こうじ

海外で戦争する国はNO!

集団的自衛権行使 容認の撤回を

安倍政権が集団的自衛権行使を認める閣議決定を行おうとしていることに対し、植木都議は第1回都議会で舛添知事の立場をただしましたが、知事は「解釈の変更によって(集団的自衛権行使は)可能」と答弁。安倍政権の暴挙に追随する姿勢を示しました。

植木都議は、閣議決定を撤回すべきと訴えています。

植木都議が共産党都議団の代表質問(第一回都議会)



6月の都議会で、少子化問題を取り上げた女性議員に「早く結婚した方がいい」「自分が産んでから」などのヤジが飛ばされた問題で、発言者への追及をあいまいにして幕引きをはかろうとする決議が採択されたことへの抗議が都議会に殺到しました。この決議は自民・公明・民主・みんなの共同提案で、都民と都議会への謝罪もなく、議員辞職も求めない、他の発言も追及しないというもの。共産党都議団は反対しました。



女性差別やじ問題で都議会議長あてに申し入れる共産党都議団

共産党都議団は議員辞職を求める!

共産党都議団が提案 辞職を求める決議案は否決

日本共産党都議団は、「早く結婚したほうがいい」と発言した自民党の鈴木章浩氏(現在は会派離脱)の議員辞職と、他の発言議員もみずから名のりてで辞職すること、都議会の信頼回復に全力をつくすことを求める決議案を提案。しかし、自民・公明・民主・みんな・結いと維新・生活者ネットの反対で否決されました。

共産党都議団の申し入れで 都議会がヤジの再調査を確認

都議会は定例会終了後、共産党都議団の申し入れを受けて議会運営委員会の正副委員長が協議し、各会派で他のヤジ発言の再調査を行うよう確認しました。共産党都議団は引き続き、問題解明のため全力を尽くします。

シルバーパスを もっと使いやすく!

共産党都議団が協議を提案、各党が検討へ



6月の都議会運営委員会理事会で、大山とも子都議がシルバーパス制度の改善にむけて超党派での協議を提案、各党で検討することを確認しました。植木都議もこれまで、都民の要望を受けてシルバーパスの改善をくり返し提案してきました。今後も改善に向け全力を尽くします。

共産党都議団の提案

- ①年間2万510円を負担している人のうち、所得の低い人の費用負担を軽減。
- ②バスの利用対象に多摩モノレールなどを追加。

2020年
東京オリンピック・
パラリンピック

競技施設の 見直しを!



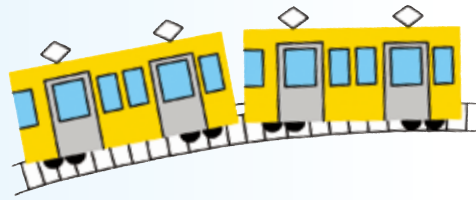
舛添知事が所信表明で、2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技施設について、近隣県をふくめた既存施設の活用、整備費の圧縮、環境への配慮など計画を見直すと表明したことは重要です。カヌー・スラローム会場については、隣接する下水道局用地の活用を検討することが示されました。多くの関係者の声や、共産党都議団の申し入れが都を動かしました。私たちは引き続き、計画の抜本的見直しを求めています。

新国立競技場も、巨大すぎて歴史的景観を破壊すると批判され、整備費の高騰が大会後の利用料に大きくはねかえると指摘されており、この計画も見直すべきです。

新国立競技場(画像:日本スポーツ振興センターHPより)



西武新宿線の 地下化促進で 踏み切り渋滞の解消を



西武新宿線の「開かずの踏切」解消のため、中野区は町会連合会や商店街連合会、住民団体、区議会などと「地下化の促進」を求めてきました。ところが、このたび中野区は独自に、高架や地下の場合など4つのケースについて比較検討調査を発表しました(図を参照)。

ご存じ
ですか?

高架化で約200棟が 立ち退きの見込み

区の説明では全面高架の場合、経費は安くなるものの、線路北側に6m以上の側道を整備するため多くの住民が立ち退かなければなりません。区の説明に基づいて試算すると、区内で約200棟の用地買収が見込まれます。全面地下化案については、多額の費用がかかり、沼袋駅の線路の接続部の課題があると区は説明しています。

一方、東京都は、正式な検討は年度内には行わないとしており、植木都議は、立ち退きによる住民負担を少なくするため、さらに多様な方式の計画案を検討するよう求めています。

発掘調査

縄文時代の土器が出土 江古田公務員住宅跡地

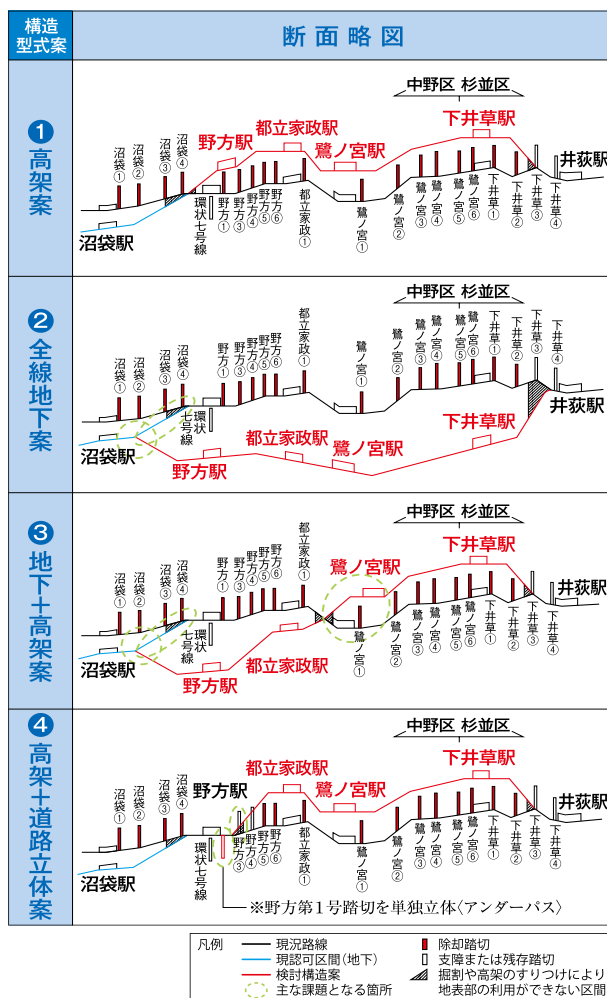
江古田3丁目の国家公務員住宅の跡地(2万平米)の発掘調査の見学会が行われ、旧石器・縄文時代の土器が展示されました。

ここは、独立行政法人都市再生機構(UR)が土地の造成を行い、発掘が終わり次第、民間事業者による住宅を中心とした開発計画が予定されています。



旧石器時代の石器、縄文土器が出土

中野区による4案の場合



都民の声が
東京都を動かした!

認可
保育園・
特養
ホーム
整備に
都
有地
活用を
検討中

植木都議は、第1回定例会の代表質問で認可保育園や特養ホーム増設に向け都有地の活用を求めました。その結果、検討チームが設置され、これまでに活用可能な土地の情報提供や貸付料などの検討、また都営住宅や住宅供給公社の土地などの活用の検討をすすめて、夏までに結果を取りまとめるとしています。



700教室も不足!

特別支援学校の教室増設を

特別支援学校では、さまざまな障がいを持つ子どもたちが自立と社会参加をめざし、進学や就職に向けて努力しています。ところが、特別支援学校の教室不足が深刻になっています。

例えば、都立町田の丘学園では、音楽室や視聴覚教室などの特別教室を普通教室に転用したり、一つの部屋をカーテンなどで区切って二部屋にして使っています。



教室をアコーディオンカーテンで2教室に仕切って授業

比留間英人教育長は共産党都議の質問に対し「都内56校中、特別教室などを普通教室に転用しているのは46校447教室、間仕切りをした教室が42校253室」と答弁。あわせて700室が不足していることを明らかにしました。

東京都は2020年までに普通教室を479室整備する計画ですが、それでも221教室足りません。さらに来年度以降、1,400人の児童生徒が増える予定です。

校舎増築まで仮設校舎の整備を約束

共産党都議団は、保護者や学校現場の意見をもとに、学校の新設などを求めました。都教育委員会が町田の丘学園について、校舎増築までの対策として仮設校舎を建設すると答えたことは一歩前進です。

